

令和元年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

令和元年度森林環境基金事業の 概要について

- 令和元年度(当初予算)森林環境基金充当事業一覧表
- 令和元年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)
- 令和元年度森林環境基金事業(拡充)の概要

令和元年6月17日

福島県農林水産部森林計画課

平成31年度森林環境基金事業の概要について

1 森林環境の適正な保全

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(1)	森林整備事業	飲料水の「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域内で行う森林整備を支援する。 ・森林整備事業 453,094千円 間伐1,352ha 作業路改良10,000m ・森林資源造成支援事業 28,966千円 再造林(苗木補助)55ha 再造林・下刈 10ha 一貫作業システムによる再造林 6ha	482,060	332,156	149,904
(2)	里山林整備事業	地域住民が行う人々の生活圏等と野生動物の生息地の間の緩衝帯等の整備や放置された危険な枯損木等を整理し森林環境を整えることを支援して、野生動物との共生と被害の抑制を図るとともに、里山林の環境を整え住民の森林づくりへの意識醸成を推進する。 ・里山林整備事業 31,000千円 環境整備 78ha 補助金 400千円/ha上限	31,000	31,000	0
(3)	森林整備地域活動支援交付金事業	森林の適切な整備を通じて、森林の有する多面的機能の継続的な発揮を図るとともに、森林施業・経営の集約化を図る観点から、主として林業事業者や森林所有者が森林経営計画の作成を行うために必要な活動を支援する措置として、市町村へ森林整備活動支援交付金を交付する。 ・森林整備地域活動支援交付金事業 240ha 6,330千円	(6,330) 2,110	(10,463) 3,488	(△ 4,133) △ 1,378
(4)	森林環境適正管理事業	情報の共有化や業務の効率化を図るため、森林情報を電子データ化した各種図面上で管理することを可能にした福島県森林GISの活用を図るとともに、県民向けの森林情報を発信する「ふくしま森まっぷ」の運営を継続するとともに、森林クラウドを導入する。 ・森林情報(GIS)活用推進事業 71,730 千円	(71,730) 52,656	(6,343) 6,343	(65,387) 46,313
計			(591,120) 567,826	(379,962) 372,987	(211,158) 194,839

※上段()は、国庫(基金)を含む事業費

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(5)	間伐材搬出支援事業	間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備に要する経費及び原木市場等への間伐材の運搬経費を支援する。 ・間伐材運搬経費支援事業 6,400千円 事業量 12,800m ³ 、補助金 500円/m ³ ・林内作業路整備支援事業 24,750千円 事業量 49,500m、補助金 500円/m	31,150	29,300	1,850
(6)	森林整備促進路網整備事業	水源区域など重要な森林の継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため耐久性のある作業道の整備を支援する。 ・森林整備促進路網整備事業 18,900千円 事業量 4,500m 補助金4,200円/m以内	18,900	18,547	353
(7)	ふくしまの低炭素社会づくり推進事業	地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。 ・緑の住宅普及支援事業 3,012千円 ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業(ストーブ100台、二酸化炭素削減支援40,000t) 45,620千円 ・ふくしま木の家・担い手応援事業 3,000千円 ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業(県産木材住宅 一般20万P 被災者等・県外移住者・子育て世帯30万P 森林認証材利用加算10万P) 50,000千円	101,632	96,799	4,833
(8)	もっともっと木づかい推進事業	公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等により、県民の木材利用に対する意識を醸成するとともに、民間施設における県産材利用の拡大を図り、低炭素社会の実現に資する。 ・木景観形成促進事業 5,000千円 ・木のふれあい創出事業 5,356千円 ・木材製品需要拡大技術導入事業 6,100千円 ・ふくしま県産材で東京2020大会サポート事業 28,108千円 ・木製食器で木づかい事業 1,939千円	46,503	52,265	△ 5,762
(9)	地域林業技術伝承事業	地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。併せて、優良な技術を県内に広く普及させるため林業研究グループ活動を支援する。 ・地域林業技術伝承事業 3件 3,000千円 ・林業研究グループ交流促進事業 7グループ 1,500千円	4,500	3,500	1,000
計			202,685	200,411	2,274

3 市町村が行う森林づくり等の推進

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(10)	森林環境交付金事業	県民一人ひとりが参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。 ・森林環境基本枠 193,587千円 ・地域提案重点枠 112,867千円	306,454	316,543	△ 10,089
計			306,454	316,543	△ 10,089

4 県民参画の推進

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(11)	花粉の少ない森林づくり事業	森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂圃の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。 ・花粉の少ない森林づくり推進事業 苗木養成1,200本 1,585千円	1,585	1,591	(0) △ 6
(12)	林業普及推進事業	森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。	1,200	900	300
(13)	森林環境学習の森整備事業	森林環境の重要性や林業の役割について学習するためのフィールドと併せ、未来につながる森林づくりの理念を発信する拠点を整備し、広く情報発信を行う。 ・森林学習フィールド整備事業 県民の森 2ha/年(獣害被害の安全対策) 3,500千円 ・(新)全国植樹祭記念の森整備事業 記念の森整備等 1,127千円	4,627	3,500	1,127
(14)	森林づくり総合対策事業	県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。 ・みんなで支えよう森元気事業 4者、4協定 3,259千円 ・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業 森林ボランティア 8団体、森林ボランティアサポートセンター運営、もりの案内人 20名、グリーンフォレスター 15名 11,366千円	14,625	14,491	134
(15)	県立学校における森林環境学習推進事業	県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動経費を支援する。 10校	2,500	2,500	0
(16)	ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業	震災や原子力災害発生以降の森林の現状に対する理解を深めつつ、森林づくり運動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と森林づくり活動の推進を図る。 ・森林環境情報発信事業 15,367千円 ・若者の森林自己学習支援事業 5グループ 1,650千円	(17,017) 17,007	(15,424) 15,414	(1,593) 1,593
	全国植樹祭開催事業	第69回全国植樹祭を開催し、天皇后両陛下によるお手植え・お手播きや復興に向けて力強く歩み続ける本県の姿を表現したアトラクションなどによる式典行事、植樹行事を実施する。 【事業終了】	(0) 0	(421,549) 273,805	(△ 421,549) △ 273,805
(17)	森林・水循環推進事業	健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。	2,464	2,100	364
(18)	エコセタ事業	未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成するため、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。 実施園数 100園、県庁七夕 1園、もりの案内人派遣 10園	3,631	3,714	△ 83
計			(47,649) 47,639	(465,769) 318,015	(△ 418,114) △ 270,376

※上段()は、その他の財源を含む事業費

5 ふくしまの森林文化の継承

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(19)	ふくしまの森林文化継承事業	県内の森林文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化について調査し、県民に分かりやすい形で広報するとともに、一般県民の体験等に対する支援を行う。 ・ふくしまの森林文化継承事業 4,860千円 ・木(森)に由来する伝統文化継承事業 5,511千円	10,371	10,948	△ 577
計			10,371	10,948	△ 577

6 森林環境の調査

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(20)	森林環境等調査発信事業	これまで森林環境交付金事業で幼稚園等に導入した木製家具の使用状況を調査し、その結果を広く周知することで、県産材を使用した木製品の利用促進を図るとともに、幼保施設向けの木材の良さをPRするチラシを作成し、木材とふれあう動機付けを行う。	1,400	1,351	49
計			1,400	1,351	49

7 森林環境基金の運営

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
(21)	森林環境基金運営事業	森林環境基金の適正な執行と透明性を確保するため、公募委員等からなる「森林の未来を考える懇談会」を開催し、事業に対する意見や事業の評価などを行うとともに、平成33年度以降の制度のあり方について、検討を進める。	3,782	1,155	2,627
計			3,782	1,155	2,627

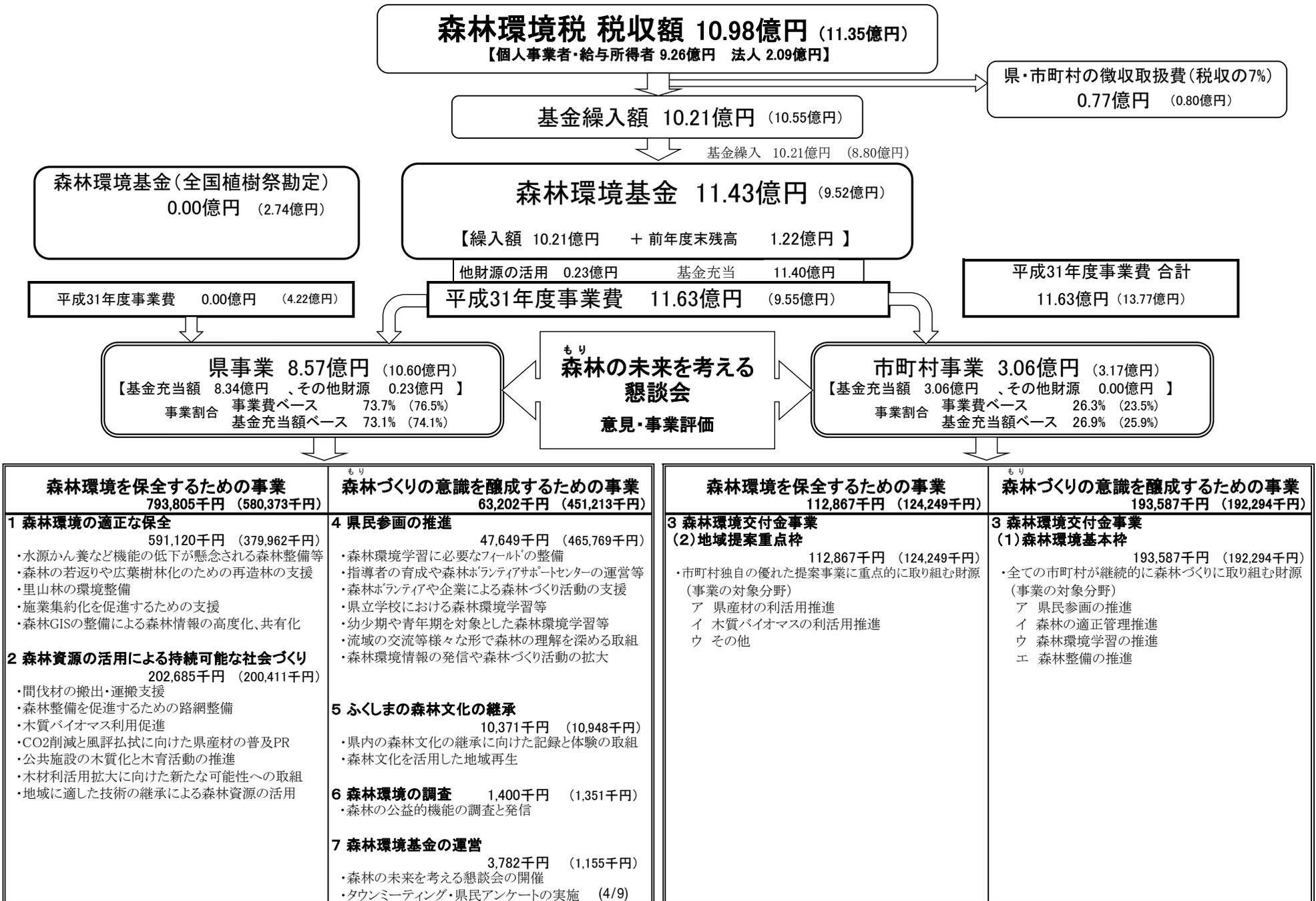
森林環境基金事業合計

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
		1~7の合計	(1,163,461) 1,140,157	(1,376,139) 1,221,410	(△ 212,672) △ 81,253

※上段()は、その他の財源を含む事業費

平成31年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)



※()書きの金額及び割合は平成30年度当初予算

【拡充】森林整備事業

森林整備課

○現状

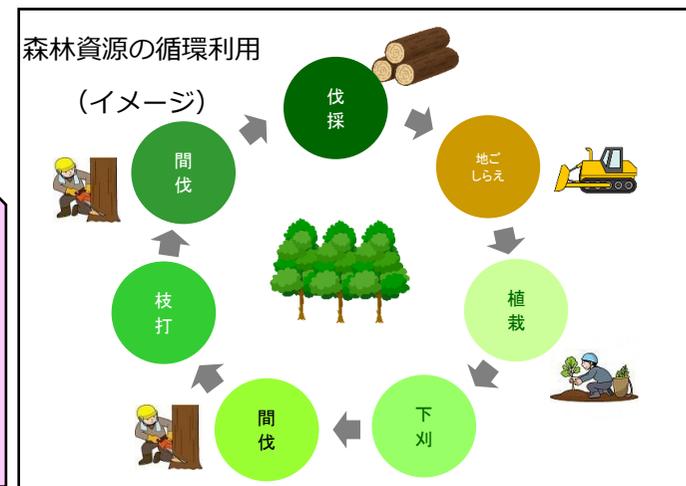
- ・森林資源が年々充実し、利用期が到来
- ・植栽費用の負担が大きく、再造林が進んでいない
- ・既設作業路が荒れて通れなくなり、間伐等の手入れが進まない

伐採・再造林、保育作業への支援

- ・伐採後の再造林の推進 → 伐採と合わせて再造林を行う計画に対し費用を補助
- ・間伐等の推進 → 荒廃した作業路の補修を支援

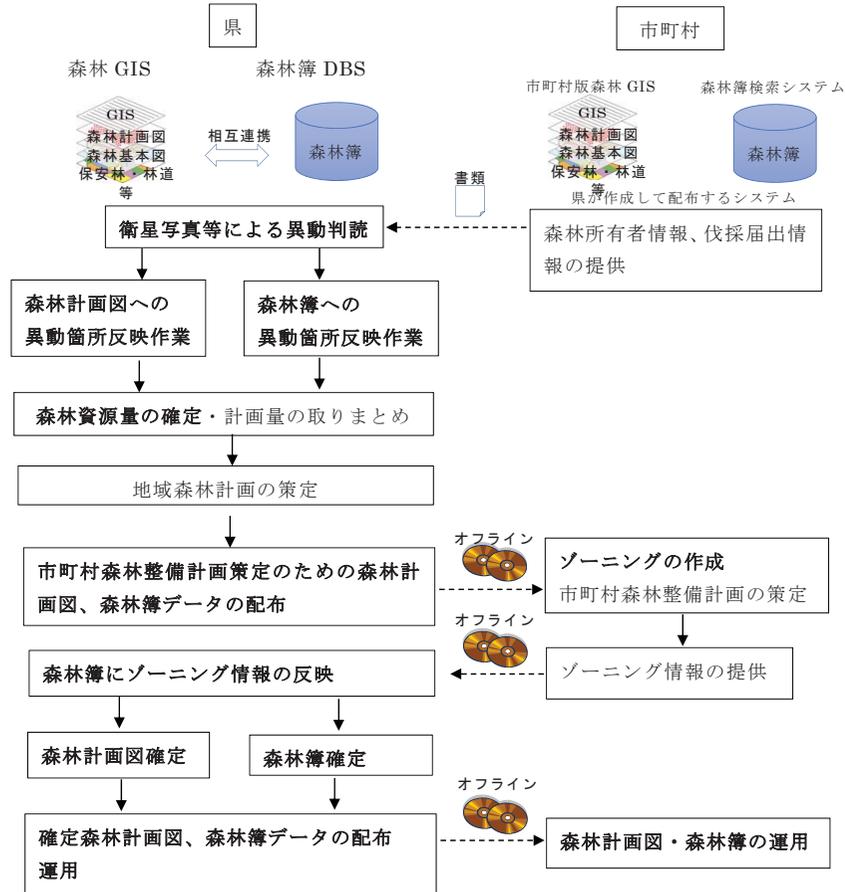
○効果

- ・森林の若返りと森林資源の循環利用を推進
- ・所有者負担の軽減により、
再造林による次世代の森林づくりへの意欲向上



現行

業務フロー



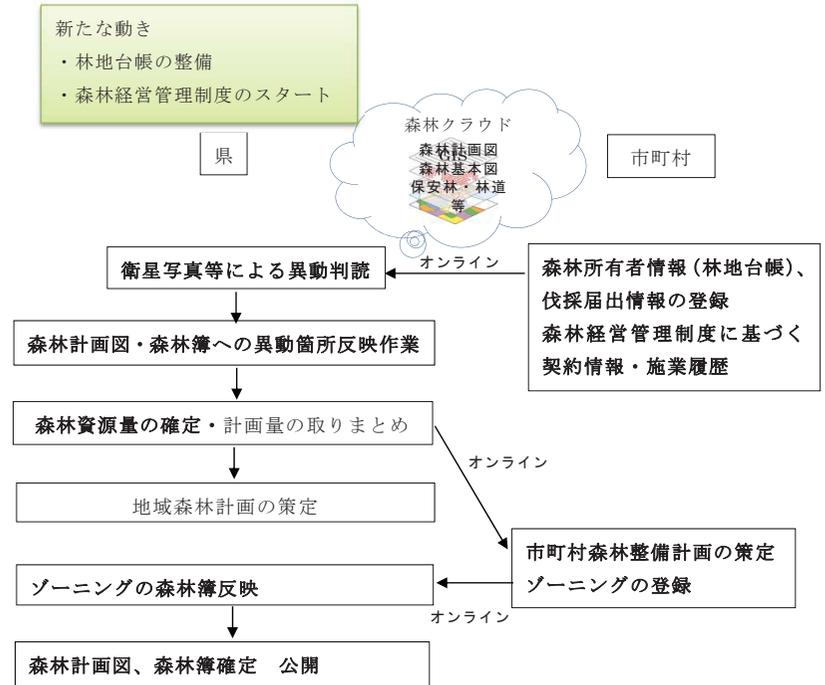
※太字の箇所ですシステムを使用

【現行業務における課題】

- ・市町村とのデータの共有に係る職員稼働の発生
- ・県の森林 GIS と森林簿データベースの分離に伴う業務効率低下
- ・森林情報の相互共有が困難。

H31~

業務フロー



※森林計画図、森林簿の樹立毎の世代管理は森林 GIS (スタンドアロン) で行う。

※太字の箇所ですシステムを使用

【クラウド化のメリット】

- 行政事務の効率化
 - ・森林行政の支援と情報共有の両立、関係機関との情報レベルの統一
- 経費削減
 - ・システム導入費用の削減、ハード等の維持管理費用の削減、法改正に伴うコンテンツ整備費の削減
- 利用者負担の軽減
 - ・恒常的な機能改良、高セキュリティなデータセンターでの運用、利用を促進するユーザサポート

木とのふれあい創出事業

【事業概要】

児童・生徒などに対し木製品に接する機会や木材によるものづくりを学習する機会を創出し、森林や林業、木材産業に対する理解の向上と木材利用に対する意識醸成を図る。
(令和元年度事業拡充(木製玩具等の貸出))

意識醸成

森林環境ゼミナール
学びの森整備 等

森林整備

健全な森づくり
地球温暖化対策推進の
車の両輪

木材利用

児童・生徒への
木育活動

事業実施内容とその目的

学校教育（小、中、高等学校）のなかで木を理解する場の提供

木に触れる機会が少ない
物作りの現場が身近にな
い

木工工作用資材を無償
提供

木工工作指導(小中学校)や、木製品製
作指導(高等学校)、イベント等で活用でき
る木製玩具等の貸与を通じ、五感を使って
木と親しむ機会をつくる。
また、地元の木材関係者、大工等から木
を使った物作りや地域の森林と自分たちの
繋がりを知る。

木材利用と森林・林業の関
わり、地域の森林資源につ
いて学ぶ。

手触り・触感の体感、技術・知識の習得、物作りに対する認識の向上、
県民全体へ対する木材利用に対する普及活動

次世代への木材利用(木の文化)⁽⁷⁾⁽⁹⁾の継承 木材需要の拡大



【事業概要】

第69回全国植樹祭によって培われた県民の森林づくり意識を引き継いでいくため、大会のシンボルであるお手植え木を守り育てるとともに、お手播き種子からの苗による記念の森を整備し、広く県民にPRを行う。

※全国植樹祭式典時に、天皇皇后両陛下が樹木を植えることを「お手植え」、種子を播くことを「お手播き」という。

お手植え樹種

天皇陛下：クロマツ、ケヤキ、スダジイ
皇后陛下：アカマツ、ヤマザクラ、ヤブツバキ

お手播き樹種

天皇陛下：津島マツ、飯豊スギ
皇后陛下：ベニシダレ、マルバシャリンバイ



〔お手植え木等整備〕

全国植樹祭大会跡地(南相馬市原町区雫地内)



・下刈り、施肥等を実施

〔お手播きの森整備〕

福島県内(調整中)



・伐採、地拵え等を実施

森林認証のイメージ

